

牛個体識別台帳の記録の修正請求書

申請する月日を記入

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

押印を忘れずにお願いします。

請求者の氏名、住所及び  
農家コードの記入が必要です。

氏名又は名称 (代表者を含む)

西郷 太郎

住所

福島県西白河郡西郷村小田倉原1

西郷

管理者等の  
コード番号

0 2 4 8 4 8 0 5 9 6

牛個体識別全国データベースの記録の修正等に関する手続(平成22年3月1日付け21独家セ第1635号)第3条第1項の規定により、自らが届け出た事項について、誤りのあった記録を取り消すとともに、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法第8条、第11条及び第13条に基づき届け出ます。

記 1の項目に個体識別番号を記入してください。

1 記録の修正を行う牛の個体識別番号

9 1 7 1 7 1 7 1 7 5

2の該当する項目(\*)に○を付け、「修正前の誤った記録」の欄に誤った記録を記入し、「修正後の正しい記録」の欄に正しい記録を記入してください。

2 修正の内容(該当する項目に○を付ける。)

1 生年月日 2 雌雄の別 3 母牛個体識別番号 4 種別  
5 転入日 6 転出日 7 死亡日 8 その他( )

\*該当する項目が無い場合は「8その他」に○を付け、( )に修正内容を記入してください。

修正後の正しい記録 (取消の場合は「取消」と記入する)	修正前の誤った記録 (現在の記録の内容を記入する。)
令和元年5月1日	平成31年4月30日

正しい記録を  
記入します。

誤っている現在の  
記録を記入します。

3 連絡先(電話番号、FAX番号、Eメールアドレス)

※問い合わせをさせていただくことがありますので、  
連絡可能な番号をご記入ください。

4 その他 その他、参考となる事項がありましたらご記入ください。

※「既に譲渡(転出)している牛」について、修正請求を行った場合の留意事項  
既に譲渡(転出)している牛の個体情報「出生の年月日、雌雄の別、母牛の個体識別番号、種別(以下「基本4情報」という。)」の一部又は全部を修正した場合には、譲渡先の農家(転出先)における家畜共済及び牛マルキン等の申請や交付等に影響を及ぼすことが考えられます。  
このため、基本4情報の修正を行った場合は、速やかに、当該牛の譲渡先の農家に対して、修正を行った旨を通知し、その内容の説明を行っていただくようお願いいたします。  
また、当該牛の譲渡先の農家との間で、牛の取引上の問題が生じた場合は、当事者間で話し合いをしていただくようお願いいたします。